

2009年10月1日 神鋼環境ソリューション創立記念日にあたって〈要約〉

本日当社は、神鋼環境ソリューション設立6周年、創業からは55回目の創立記念日を迎えました。創業以来、幾多の困難を乗り越えて会社の発展を支えてこられた諸先輩のご努力とご労苦に対し、敬意を表します。

さて、一年前のリーマンショックを契機に、世界経済を支えてきたシステムが完全なものではなく、多くの修正が必要であることに全世界は気付きました。以来、世界各国はそのシステムの再構築や経済建て直しのための努力を懸命に行い、その結果、何とか大恐慌には至らず、世界経済は少しずつ安定を取り戻しつつあるように見えます。またこの一年は、世界経済を牽引する力が米国から人口の多いアジアの新興国に移動しつつあることを実感した年でもありました。

更に日本では一ヶ月前に歴史的な政権交代が起きました。戦後一貫して日本社会を支えてきたシステムの見直しが政治・経済・社会の全ての分野で急ピッチで進んでいきます。当然のことながら、戦後日本経済が到達した経済水準は維持しつつ、少子高齢化時代にどう対処するかという視点からの新しいシステムの構築が求められます。

そのような、時代の大変革期に私たちは直面しています。未知の部分や克服すべき新たな課題が山積する中で、神鋼環境ソリューションの生きる道、進む道を描き出し、それを実行していくことが求められています。過去に諸先輩が傾注されたのと同様、全社員の知恵と汗とを結集して、将来の飛躍を目指して勇気を持って前進したいと思います。

当社は今、対象市場／メニュー構成／事業規模／収益構成といった点で、成長の踊り場に来ています。

関係会社を含め、その他のほとんどのメニューが黒字もしくは黒字化が見込めるまでになっており、昨年度は統合以降の最高益である連結経常利益27億円を達成しました。しかしながら、本年度に入り、景気後退の影響を受け民需分野の業績が低下していること等により、本年度全社の連結経常利益は10億円という低い水準に止まる見込みです。

当社グループにとっての最大のテーマは、いかにしてもう一段上の収益力を身につけるかです。

そのため8月に中期経営計画検討委員会を設置し、全社横断的な観点から事業競争力の強化策と事業規模拡大に向けた補強策及びアクションプランの検討を開始しました。その成果を踏まえて、次期中期計画につなげていく予定です。そして、近い将来には事業規模1,000億円、連結経常利益50億円を安定して達成できる企業体を目指します。

次期中期計画を策定する上で必要不可欠なことは、正確な時代認識です。

少子高齢化により日本の市場は益々縮小していき、それに反比例して人口増加と経済成長の著しいアジア新興国の市場は益々拡大すること。アジア各国の技術水準はどんどん高くなり、近い将来、日本と遜色なくなること。新政権が見直しを進めている日本の統治システム、例えば国と地方自治体との関係が変わること、言い換えれば公共事業のあり方自体が影響を受けること。二酸化炭素 25%削減が私たちの事業に与える影響を敏感にとらえること、等々。

これらのことを考えた上で次期中期計画にも反映させなければなりません。

夢のある、魅力的な未来像を、皆さんと共に描き、実現に向けて勤しんでいきましょう。

常日頃から申し上げていますが、繰り返しこの場で皆さんに申し上げたいこと、それは「安全」についてです。

災害・事故防止に向け、教育やKY活動（危険予知活動）を通じた「安全最優先」の意識徹底、及び重点作業場への安全指導員の常駐など具体的な防止策を講じています。企業活動の基本となるのは安全であり、安全なくして企業活動はありえません。是非とも全社員が、今一度足もとを見つめ直して無事故・無災害を目指してください。

また、より良き社会的存在であるために、リスク管理、J-SOX、コンプライアンスを組織に定着させるための弛まぬ努力を続けています。制度面の整備・強化のみでなく、個々人の意識を高める活動も行っています。

当社はステップアップするためにあと一步のところまで来ています。

本年8月にはベトナムの工業団地の水処理設備を受注することが出来ました。この受注は、海外進出の具体的な足掛かりを得たという意味で、ひとつの大きな一步と言うことが出来ます。この案件を核にベトナムを始めアジアでの当社の活動を拡大していきたいと考えています。

皆さん、今は、これまで閉じこもっていた自分の殻を割って、飛び出す時です。

遅れてはなりません。勇気を持って、情熱を持って一步踏み出しましょう。

決して簡単な道ではありませんが、それを乗り越え、世の中に評価される存在感のある会社にしていきましょう。

以 上

2009年10月1日

株式会社神鋼環境ソリューション 取締役社長 青木克規